



KANDA

CORPORATION

第**92**期事業報告書
2004年4月1日～2005年3月31日



経営理念

- ➡ 私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。
- ➡ 私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、お客様と共に繁栄します。
- ➡ 私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- ➡ 私達は、和の精神を大切に、社員の生活向上を目指します。

基本方針

- ➡ 総合物流商社を目指し、質の高い独自性のある企業を創造します。
- ➡ 利益を重視した経営を目指します。
- ➡ グループ経営を強化し、変化に対応したスピード経営に取り組みます。
- ➡ 品質向上、新商品の研究開発、IT化の推進、環境の対策強化を図ります。
- ➡ チャレンジ精神が溢れた活発な組織を目指していきます。

株主の皆様へ



代表取締役社長
吉林 正和

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループの第92期（平成16年4月～平成17年3月）の業績・今後の見通し等についてご説明申し上げます。

● 当期の業績について

当社グループは、「第1次3ヵ年経営計画」（平成15年4月～平成18年3月）の2年目を迎え「変えよう意識！高めよう品質！」をメインスローガンにお客様の物流ニーズを的確かつ迅速に捉えた営業活動の展開、全員営業による新しいお客様の開発等に取り組むと共に、収益力の強化に努めてまいりました。新規業務として通信販売会社様のセンター業務の受注、キャッシュサービス事業や医薬品卸会社様のセンター業務等の増加により一定の営業収益を確保することができましたが、既存のお客様による売上の減少を補うことはできませんでした。

以上の結果、連結営業収益は237億1百万円（前年同期比1.1%減）、連結経常利益は13億34百万円（同6.6%増）、連結当期純利益は6億60百万円（同11.9%増）となりました。

単体業績につきましては、営業収益は212億37百万円（前年同期比1.0%減）、経常利益は11億円（同9.7%増）、当期純利益は3億52百万円（同9.1%減）となりました。

● 成長事業について

当社グループには、経営を支えている事業の柱がいくつかありますが、そのなかでも成長の著しい事業は「キャッシュサービス事業」です。この事業は、お客様の店舗の売上金の回収や精査を行い、指定金融機関の口座への入金、そして釣銭の準備までをトータルとして行うサービス事業です。このサービスは、企業の資金効率や事務効率の需要と相まって業績も順調に伸びております。東京都江東区、栃木県足利市のほかに、中部地区への営業拡大を目指し、本年4月、愛知県小牧市に東海キャッシュサービスセンターを開設しました。また、今後は、関西地区への進出も視野に入れております。

● コンプライアンスへの取り組みについて

平成16年2月にコンプライアンス体制確立推進のために管理本部長をチーフとしたコンプライアンスワーキングチームを結成し、コンプライアンス行動基準とそれを具体化した「コンプライアンスマニュアル」を当社グループの各職場に配布しコンプライアンス意識の周知徹底に努めております。また、社内通報制度および相談窓口を設け、不正事件や不祥

事を未然に防止して適切に対処するなど、法令順守の経営に努めております。

● 次期の業績見通しについて

平成18年3月期は、「第1次3ヵ年経営計画」の最終年度を迎え、新規のお客様の獲得、既存のお客様の取引深耕による売上増加に努力し、一層の効率経営による収益体質、財務体質の強化を図り、更に強い企業グループを目指します。

業績につきましては、連結営業収益は241億円（前年同期比1.7%増）、連結経常利益は13億70百万円（同2.7%増）、連結当期純利益7億25百万円（同9.8%増）を予定しております。

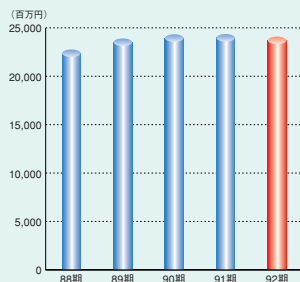
単体業績につきましては、営業収益215億円（前年同期比1.2%増）、経常利益は11億50百万円（同4.5%増）、当期純利益は6億円（同70.0%増）を予定しております。

● 株主の皆様へのメッセージ

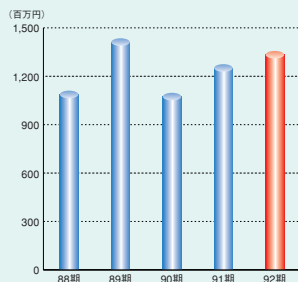
今後も企業価値の最大化を目指し、事業を展開してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

財務ハイライト

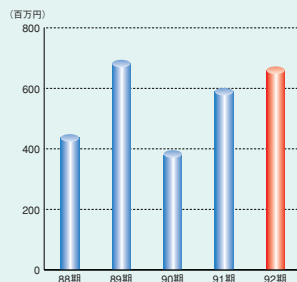
連結売上高



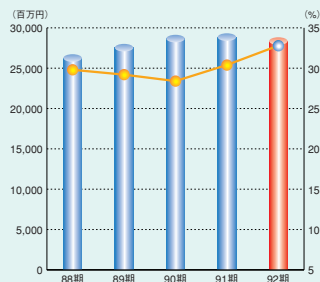
連結経常利益



連結当期純利益



連結総資産 / 株主資本比率



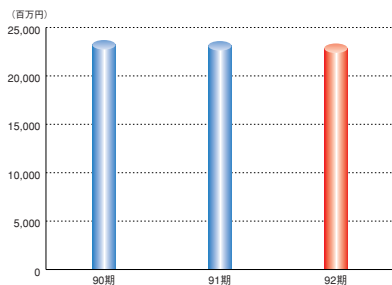
事業の概要

カンダコーポレーションは、物流の総合商社として、“ローコストで高品質なサービスのご提供”をコンセプトにして出版物の輸配送・医薬品・アパレルの物流業務の一括引き受けはもとより、引越・共同配送・重要書類の保管・現金の集配など、数々の分野でお客様のニーズに対応してまいりました。また、近年ではIT（情報技術）の進歩にもいち早く対応し、

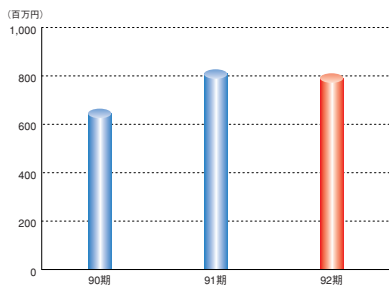
企業と消費者を結ぶコールセンター機能を有した『B to Cダイレクト』サービスも展開し、多くのお客様に高い評価をいただいております。皆様のご要望に迅速・確実にお応えすべく、“トータルロジスティクス”を追求し、物流を通じて、豊かで快適な社会の実現を社会的使命と考え努力を続けてまいります。

セグメント別売上高

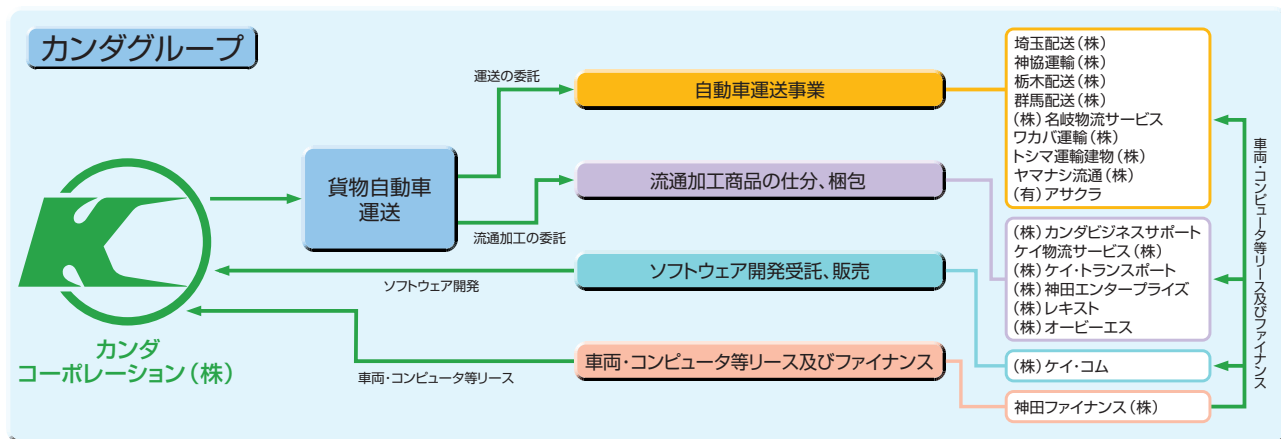
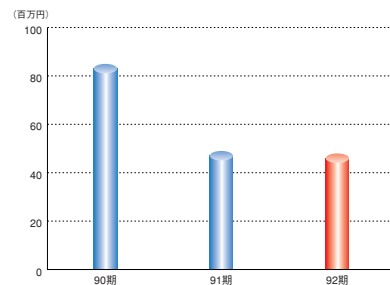
貨物自動車運送事業



不動産賃貸事業



その他事業





🔍 物流センターオペレーション事業

長年培った物流技術と実績を最大限に活用し、お客様の物流システム構築、改革を最新物流テクノロジーでご提供しています。

<1> 物流情報支援

オンライン化、WEB受注、業界VAN、各種EDI、FAX& TELなど様々な受注システムに対応します。

<2> 倉庫内オペレーション

TC1、TC2、DC、PDC、各クロスドッキングなど用途に応じます。

<3> 輸配送管理業務

様々なカテゴリーに対応した輸送サービスを提供しています。

🔍 共同輸配送事業

出版物、医薬品、加工食品など多品種・少量の時代のニーズに合わせて、タイムリーに集荷から仕分け、納品を行っています。戦略的なサプライチェーンマネジメントの一翼を担う事業となっています。

🔍 流通加工事業

当社の物流センター内において、集荷した商品について荷主の要望に応じて、加工・保管・仕分など、配送までの総合ロジスティックを請け負う事業です。アソート、組み立て、値札付け、シュリンク加工等用途に応じて対応しています。

🔍 現金輸配送事業

現金の輸配送から釣銭の供給、現金の精査、データ処理等、お客様のニーズに合わせたシステムを低価格で提供しています。

🔍 引越事業

当社では、国内総合引越サービス・事務所移転引越サービス・海外引越サービスとお客様のご要望にきめ細かくお応えできる引越サービスをご提供しています。

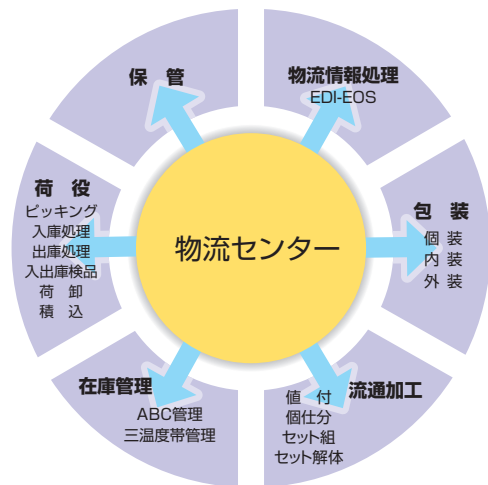
🔍 BtoC事業

当社の「B to C ダイレクト」は、当社が販売の後方体制、受注、代金回収、商品在庫、発送代行、カスタマーDB構築、DMなどの機能を提供する一貫した ダイレクト・マーケティング アウトソーシングシステムです。

カンダグループを支える事業

物流センターオペレーション事業

総合物流商社としてのネットワークを充実し、効率的な物流環境づくりを積極的に推進しています。



蓮田物流センター

埼玉県蓮田市

出版物の返本センターとして利用

- 24時間稼働
- 取扱商品：書籍・コミック・雑誌等



岩槻物流センター

埼玉県さいたま市岩槻区

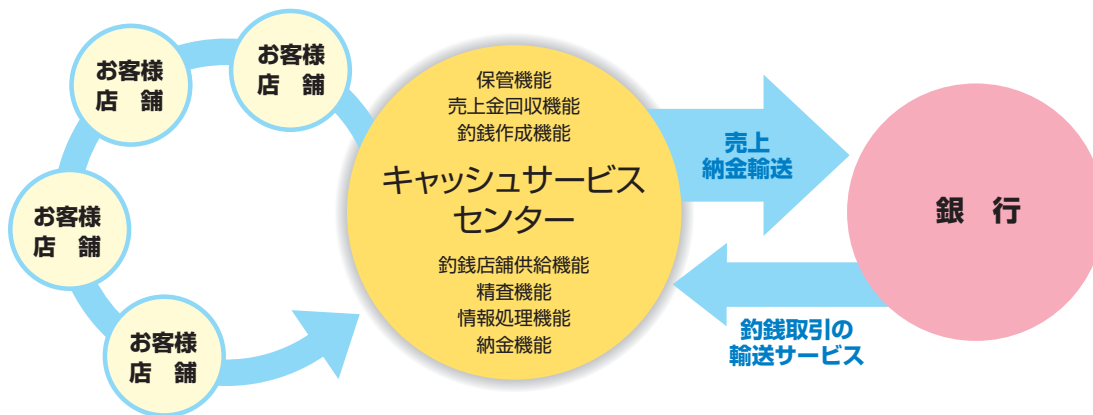
1道6県を網羅する広範囲な共同配送網に向けた発送拠点

- 出版物共同配送拠点
- 24時間体制による納品品質管理
- ジャストインタイムによる各店納品



現金輸配送事業

現金の輸配送から釣銭の供給など、トータルでサービスを提供しています。



全員参加の小集団活動 「ダッシュ21」

カンダコーポレーショングループでは、平成7年より全員参加の小集団活動を実施しており、その名称を「ダッシュ21」と呼んでいます。

毎年5月に「ダッシュ21中央発表大会」を開催しており、各事業部ごとのブロック発表会を勝ち抜いた精鋭15サークルが、その年のナンバー1をめぐって活動成果の発表を行います。

「作業の品質改善」「交通事故防止」などの各テーマについて、自分たちの手で改善活動を計画し実行することにより、従業員の仕事への参画意識が高められ、活気ある職場づくりにつながっています。

この「ダッシュ21」を永年にわたり継続していることが、カンダコーポレーショングループの安全運行や高品質作業の基礎となっていることは、言うまでもありません。



品質・効率向上「5S大運動」

カンダコーポレーショングループでは、「品質・効率向上5S大運動」を推進しております。

5Sとは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の5つの言葉の頭文字「S」をまとめたもので、物流現場のエラーを防止し、カンダコーポレーショングループのサービスを向上させるための出発点と考えております。





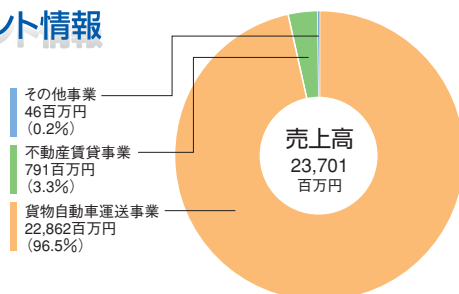
連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期 平成17年3月31日現在	前 期 平成16年3月31日現在		当 期 平成17年3月31日現在	前 期 平成16年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	6,036	6,266	流動負債	10,912	10,457
現金及び預金	3,145	3,355	支払手形及び 営業未払金	1,302	1,366
受取手形及び 営業未収金	2,603	2,596	短期借入金	6,150	5,985
たな卸資産	55	22	未払法人税等	287	285
前払費用	86	93	その他	3,172	2,820
繰延税金資産	94	112	固定負債	8,132	9,640
その他	55	90	社債	300	900
貸倒引当金	△ 4	△ 3	長期借入金	5,936	6,868
固定資産	22,322	22,592	退職給付引当金	670	608
有形固定資産	20,521	20,834	預り保証金	885	883
無形固定資産	139	167	その他	340	380
投資その他の資産	1,660	1,589	負債合計	19,045	20,098
資産合計	28,358	28,859	少数株主持分		
			少数株主持分	—	—
			資本の部		
			資本金	1,772	1,772
			資本剰余金	1,627	1,627
			利益剰余金	5,776	5,267
			その他有価証券 評価差額金	191	145
			自己株式	△ 55	△ 53
			資本合計	9,312	8,760
			負債、少数株主持分 及び資本合計	28,358	28,859

セグメント情報



連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	前期 平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
営業損益の部		
営業収益	23,701	23,964
営業収入	23,701	23,964
営業費用	22,258	22,558
売上原価	21,103	21,349
販売費及び一般管理費	1,155	1,209
営業利益	1,442	1,405
営業外損益の部		
営業外収益	98	89
受取利息及び配当金	23	17
その他	75	72
営業外費用	207	243
支払利息	204	223
その他	2	20
経常利益	1,334	1,251
特別利益	0	11
特別損失	186	254
税金等調整前当期純利益	1,147	1,008
法人税、住民税及び事業税	509	494
法人税等調整額	△ 21	△ 78
少数株主利益	—	2
当期純利益	660	589

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	前期 平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,641	1,873
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 665	△ 976
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,182	△ 696
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の 増加額又は減少額(△)	△ 206	200
現金及び現金同等物の期首残高	3,107	2,907
現金及び現金同等物の期末残高	2,901	3,107

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

	当期 平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	前期 平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	1,627	1,627
資本剰余金増加高	0	—
資本剰余金期末残高	1,627	1,627
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	5,267	4,805
利益剰余金増加高	660	589
利益剰余金減少高	151	127
利益剰余金期末残高	5,776	5,267

単体財務諸表

単体貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期 平成17年3月31日現在	前 期 平成16年3月31日現在		当 期 平成17年3月31日現在	前 期 平成16年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	5,185	5,379	流動負債	8,008	8,216
現金及び預金	2,600	2,773	営業未払金	1,626	1,653
受取手形及び営業未収金	2,354	2,372	短期借入金	3,600	4,010
貯蔵品	43	17	未払法人税等	240	234
前払費用	69	75	その他	2,541	2,318
繰延税金資産	75	94	固定負債	7,062	7,540
その他	43	47	長期借入金	4,800	4,873
貸倒引当金	△ 1	△ 0	退職給付引当金	658	597
固定資産	18,439	18,687	預り保証金	889	886
有形固定資産	16,451	16,722	その他	714	1,182
無形固定資産	28	30	負債合計	15,071	15,756
投資その他資産	1,958	1,934	資本の部		
資産合計	23,625	24,067	資本金	1,772	1,772

単体損益計算書

(単位：百万円)

	当 期 平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	前 期 平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
営業損益の部		
営業収益	21,237	21,449
営業費用	20,056	20,338
営業利益	1,181	1,111
営業外損益の部		
営業外収益	58	54
営業外費用	139	162
経常利益	1,100	1,003
特別損益	△ 345	△ 288
税引前当期純利益	755	714
当期純利益	352	387
当期末処分利益	1,303	1,298

利益処分

(単位：百万円)

	当 期 株主総会決議 平成17年6月29日	前 期 株主総会決議 平成16年6月29日
当期末処分利益	1,303	1,298
任意積立金取崩額	2	2
これを次の通り処分します。		
配当金	45	68
役員賞与金	35	35
別途積立金	200	200
次期繰越利益	1,024	996

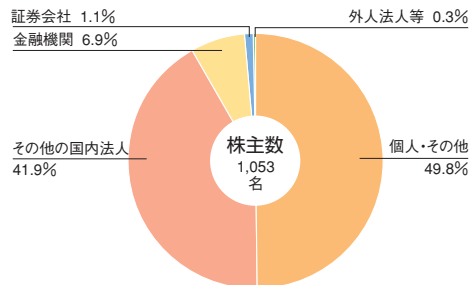
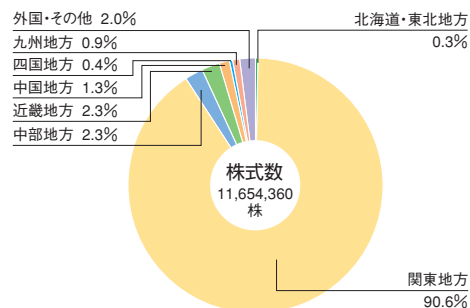
株式の状況

(平成17年3月31日現在)

● 会社が発行する株式の総数	38,000,000株
● 発行済株式の総数	11,654,360株
● 株主数	1,053名

● 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
(有)原島不動産	2,342,000	20.10
(有)司光	578,000	4.96
原島 望泰	560,000	4.81
原島 康子	506,000	4.34
カンダ従業員持株会	410,653	3.52
(株)三井住友銀行	409,200	3.51
原島 藤壽	378,000	3.24
(株)原島本店	348,140	2.99
板井 義信	331,000	2.84
カンダ共栄会	301,900	2.59



会社概要

会社概要

(平成17年3月31日現在)

商号	カンダコーポレーション株式会社
所在地	東京都千代田区三崎町三丁目2番4号
創業	昭和18年11月
代表取締役社長	吉林 正和
資本金	17億7,278万4,000円
従業員	592名 (グループ全体 1,510名)

役員

(平成17年6月29日現在)

代表取締役会長	原島 望泰
代表取締役社長	吉林 正和
取締役副社長	阿部 勉
常務取締役	勝又 一俊
常務取締役	原島 藤壽
取締役相談役	金子 健一
取締役	佐々木 義春
取締役	吉田 稔
取締役	祖山 雄一
取締役	山崎 唯
取締役	佐藤 広明
常勤監査役	鈴木 和夫
監査役	並木 友彦
監査役	樽林 文彦

(注) 監査役並木 友氏および監査役樽林文彦氏は、商法特例法第18条第1項に定める社外監査役であります。

グループ会社

(平成17年3月31日現在)

埼玉配送株式会社	神田ファイナンス株式会社
神協運輸株式会社	ヤマナシ流通株式会社
栃木配送株式会社	ケイ物流サービス株式会社
群馬配送株式会社	株式会社ケイ・トランスポート
株式会社カンダビジネスサポート	株式会社神田エンタープライズ
株式会社ケイ・コム	有限会社アサクラ
株式会社社名岐物流サービス	株式会社レキスト
ワカバ運輸株式会社	株式会社オービーエス
トシマ運輸建物株式会社	

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金	利益配当金受領株主確定日 毎年3月31日 中間配当を実施する場合の 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは予め公告いたします。
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および 全国各支店
1単元の株式数	1,000株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.kanda-web.co.jp (注)平成17年6月29日開催の第92回定時株主総会において定款の一部変更が行われ、「電子公告制度導入のための商法等の一部を改正する法律」(平成16年法律第87号)に基づき、公告の方法は電子公告となりました。

単元未満株式(1,000株未満)をお持ちの株主様へ

単元未満株式ご所有の株主様へは単元株(1,000株)への買増が可能となっております。なお、従来どおり単元未満株の買取り(当社へ売却)も行っております。お手続きをご希望の株主様は名義書換代理人(みずほ信託銀行)へお問い合わせください。ただし、証券保管振替制度をご利用の株主様はお取引証券会社へお問い合わせください。



21世紀の総合物流商社

カンダ コーポレーション

東京都千代田区三崎町三丁目2番4号 TEL 03-3265-1841



古紙配合率100%再生紙を使用